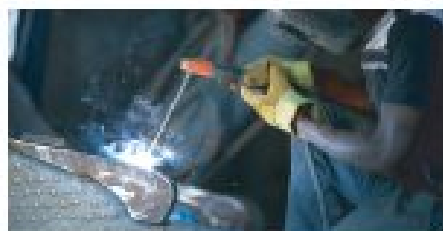


GSEF への道すじ

Dakar2023

2023年5月1～6日



**Social and Solidarity Economy & Territories :
Transitioning from Informal Economies to Collective
and Sustainable Economies for our Territories**

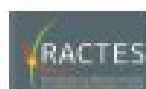


TABLE OF CONTENTS

WHAT IS IT ABOUT ?



p. 03

p. 04



WHERE ?

WHEN ?



p. 05

p. 06



**THEMES AND
SUB-THEMES**

**SPECIAL
EVENTS**



p. 14

どんな内容ですか？(What is it about?)

グローバル・ソーシャル・エコノミー・フォーラム（GSEF）は、社会的連帯経済（SSE）に関する最も権威ある最大の会議の一つで、地方・中央政府から市民社会組織とネットワーク、国際組織、学術研究機関、および民間セクターの活動家まで、SSE 分野のすべての関係者が集まり、より包摂的で公平、連帯に基づく、人間中心の世界の構築に向けての実践、経験、政策、ビジョンを共有する目的で、2年ごとに開催されています。GSEF は、SSE を推進するための国際的なネットワークです。

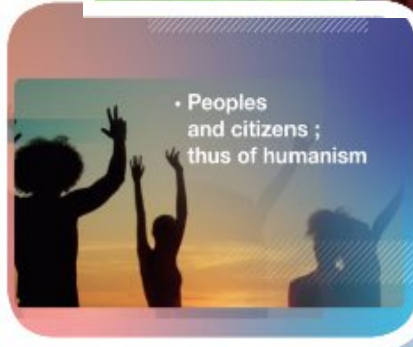
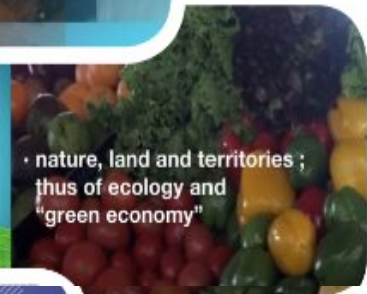
SSE はその発展のための肥沃な土壌をアフリカに見出している。実際に最近、アフリカとりわけセネガルでは、SSE のエコシステムを支援する公共政策や新しい法の枠組みが制定され、SSE の発展にとって好ましいいくつかの機会が生まれています。このような動きは、SSE が世界的に有利に働く、コロナパンデミック後の国際的な経済状況の一つの現れです。



· Africa, youth and women ; thus of hope



· nature, land and territories ; thus of ecology and "green economy"



· Peoples and citizens ; thus of humanism



· popular initiatives and creativity ; thus of social innovation.

GSEF2023 は以下のようなテーマを取り上げるフォーラムです。

- 希望としてのアフリカ、若者、女性
- 自然・土地・地域におけるエコロジーとグリーンエコノミー
- 国民と市民；ヒューマニズム
- 社会的な革新を目指す大衆的な取り組みと創造性；

どこで？ アフリカのセネガルの首都ダカールで

カーボベルデ半島に位置するセネガルの首都ダカールは、アフリカ大陸の最西端の都市であり、アフリカ大陸への玄関口となっています。世界に開かれたコスモポリタン都市であるダカールは、住民の生活のあらゆる側面に社会的ダイナミズムが行き渡っていることが特徴的です。セネガルで最も都市化されたダカールには、この国の経済、社会、文化活動のほとんどが集中しています。ダカールの人々の伝説的なホスピタリティは、この国のアイデンティティである Teranga に不可欠な要素です。膨大な経済・文化資源を持つ連帯都市ダカールは、2023年には連帯経済の世界の中心となるでしょう。

ダカールでは、そのハイエンドなレセプション施設のおかげで、毎年、世界の著名な専門家やセレブリティが出席する大規模な国際会議が開催されています。近代的な鉄道と高速道路のネットワークは人々の移動と安全を確保し、世界の主要な航空会社がダカールと世界の国々を数時間で結ぶようになりました。ダカールは、持続可能な生活環境の中で、女性や若者、社会的弱者に力を与える包摂的な政策を実施することで、連帯を中心におく強靱な都市となることを目指しています。



いつ? 2023年5月1日～6日



ソウル（2013年、2014年）、モントリオール（2016年）、ビルバオ（2018年）、メキシコシティ（2021年）に続き、ダカールでは2023年5月1日から6日まで、第6回グローバル社会経済フォーラム（GSEF2023 Dakar）のアフリカで初めての開催が決定しています。このイベントは、ダカール市と社会的連帯経済を推進する活動家と自治体のネットワーク（RACTES）が、セネガル・マイクロファイナンス・社会的連帯経済省と共同で開催するものです。この選択は、ダカール市が社会的連帯経済の分野で実施している活動だけでなく、セネガル政府が社会的連帯経済を支援・促進するエコシステムを開発するため実施している積極的な政策のビジョンを反映し、その関連性を確認するためです。

大会のテーマ及びサブテーマ

社会的・連帯的経済と領域: インフォーマル経済から集団的で持続可能な経済への移行

世界の被雇用者の 60%以上がインフォーマル経済で収入を得ています¹。アフリカでは 76%の雇用がインフォーマルセクターにあり、比較的少数の雇用 (5.5%) が正規雇用で、4.3% が家庭内労働です。2015 年 6 月に国際労働会議は、インフォーマル経済に属する特性や要素の多様化にふさわしい一連の政策を開発するために「インフォーマルからフォーマルへの転換」を勧告 (No204) しました。

コロナパンデミック (COVID-19) によって悪化した最近の世界的な経済と政治の不安定性は、利益の最大化を目指す経済モデルの欠点を露呈し、これまでとは別の、補完的でより包摂的で持続可能な開発の必要性をあらためて確認しています。SSE は、一連の経済活動の定義を超えて、「持続可能な開発のための 2030



アジェンダ」に示された「誰一人取り残さない」という原則に則って、正規の制度から排除された人々 (失業者、障害者、高齢者、若者、女性など) が自分の居場所を見つけることができる社会モデルをあらためて提起しています。したがって、インフォーマル経済から地域に密着し共同性を持った持続可能な経済への移行は、不平等の解消と経済、社会、環境に関する目標をリバランスするための、実行可能なソリューションとなります。

この提案募集を通じて、GSEF2023 ダカール・フォーラムは、資本主義的でない、より人間中心の新しい開発モデルへの道を共同で構築するために、世界中の領域や地域の活動家から生まれるすべての取り組みに力を与えることを意図しています。本フォーラムの 7 つのテーマと、若者と女性に関する 2 つの特別企画は、以下の通りです。

テーマ1

若者と女性のためのディーセント・ジョブ（人間らしい働き方）に資する協働的で持続可能な経済のための公共政策の共同構築

SSE は、発展途上国でも先進国でも、地域開発を行う効果的かつ協働的な方法として広く認識されるようになってきました。SSE は、もはや危機の際の命綱ではなく、むしろ開発モデルのひとつと見なされるようになってきました。

どのように課題や問題を特定し、公共政策のための条件と機会を作り出し、私たちの地域のための協働的で持続可能な経済に貢献したらいいのでしょうか？ インフォーマル経済から、若者や女性のためのディーセント・ジョブを創出する協働的で持続可能な経済への移行に、どのように橋渡しをしたらいいのでしょうか？ 地域に密着した経済を促進し、包摂的で持続可能な開発を実現するために、自治体や SSE 関係者はどのような役割を果たすべきなのでしょうか？



サブテーマ

- 1.1. ディーセントな雇用を促進するための政策、計画、実践の共同構築
- 1.2. 協働的で持続可能な経済への移行に役立つインフォーマル経済のきっかけと経験
- 1.3. 社会的連帯経済組織および企業のガバナンス

テーマ 2

持続可能なブルーエコノミー（海洋経済）、伝統的な漁業の維持、持続可能な新規雇用の創出、社会と環境の保護

漁業と石油・天然ガス関係者の利害が明らかに異なることを考慮し、漁業コミュニティ、影響を受ける沿岸の地方自治体、そして「ブルーエコノミー」の活動家たちは、漁業資源に大きく依存する人々のしなやかさやしぶとさを結集し、強化するよう求められています。これらの資源はしばしば乱獲され、取り尽くされ、資源の枯渇を招きますが、それは伝統的漁業の分野でより強く感じられます。

伝統的漁業と工業漁業により直面する問題をどのように解決し、適切な緩和策を模索するダイナミズムをどう確立すればいいのでしょうか？ 持続可能な連帯のブルーエコノミーの包括的なガバナンスは、どのような対応策を提供できるのでしょうか？

包摂的で持続可能な「青い成長」の観点から、観光、漁業、エネルギー、農業、運輸などの部門において、どのように直接・間接の連帯と人間らしい仕事を生み出すことができるのでしょうか？ どのような社会 漁業関係者やコミュニティ、そして影響を受ける沿岸地域の関係者のニーズを最もよく満たすことができる社会保護システムとはどんなものなのでしょうか？

サブテーマ

2.1 伝統的漁業の保護

2.2 永続的な新しい「青い仕事」の創出と環境保護

2.3 ブルーエコノミー活動家たちにとっての社会保護制度



テーマ3

地域、食料自給、そのガバナンスのための協働的で持続可能な「グリーン」経済



今日の世界は、気候、エネルギー、食糧、健康、金融の危機を筆頭に、いくつかの課題に直面しています。これらの複合的な危機は私たちの社会を、環境リスクと生態系の縮小を大幅に緩和しながら、豊かさと社会正義の経済に向かって前進する責任を伴った共同行動を取る以外に、選択肢のほとんどない状況に追い込んでいます。

したがって、「グリーン経済」が環境の劣化をこれ以上悪化させることなく生活水準を向上させることがグリーン経済の課題であるならば、貧困との戦いと環境保護をいかに調和させるか、ということ自らに問うことこそが本質的です。過剰生産・過剰消費の社会と飢餓とをどのようにして調和させるか？ 貿易、グリーン経済、持続可能な開発をどのように共存させるか？ 途上国、新興国、先進国、そしてSSEと市民社会のアクターの間で合意できる「グリーン」な経済プロジェクトをどうデザインすればいいのでしょうか？ 「グローバル・ガバナンス」が存在しない中で、グリーン経済、コミュニティの自給自足、地球の保全に共通する利益をどのように確保することができるのでしょうか？ グリーン経済に向けての変化の運用段階に移行することを最終的に可能にするのは、どのような制度的メカニズムなのでしょうか？

サブテーマ

3.1 生態系と共生する農業システム

3.2 食糧安全保障と主権

3.3 グリーン経済、コミュニティの自給自足、環境保全のガバナンス

テーマ4

連帯と持続可能なデジタル経済とスマートテリトリー

社会と経済のデジタル化は、地域内のデータ量の増加をもたらします。これらのデータは、あらゆる種類の活動分野（公共部門、民間部門、市民）からもたらされ、地方自治体のあらゆる活動分野に関係しています。デジタル経済、社会的連帯経済、そして地域は、実現可能で住みやすい世界を再構築するための不可欠な3本の柱です。

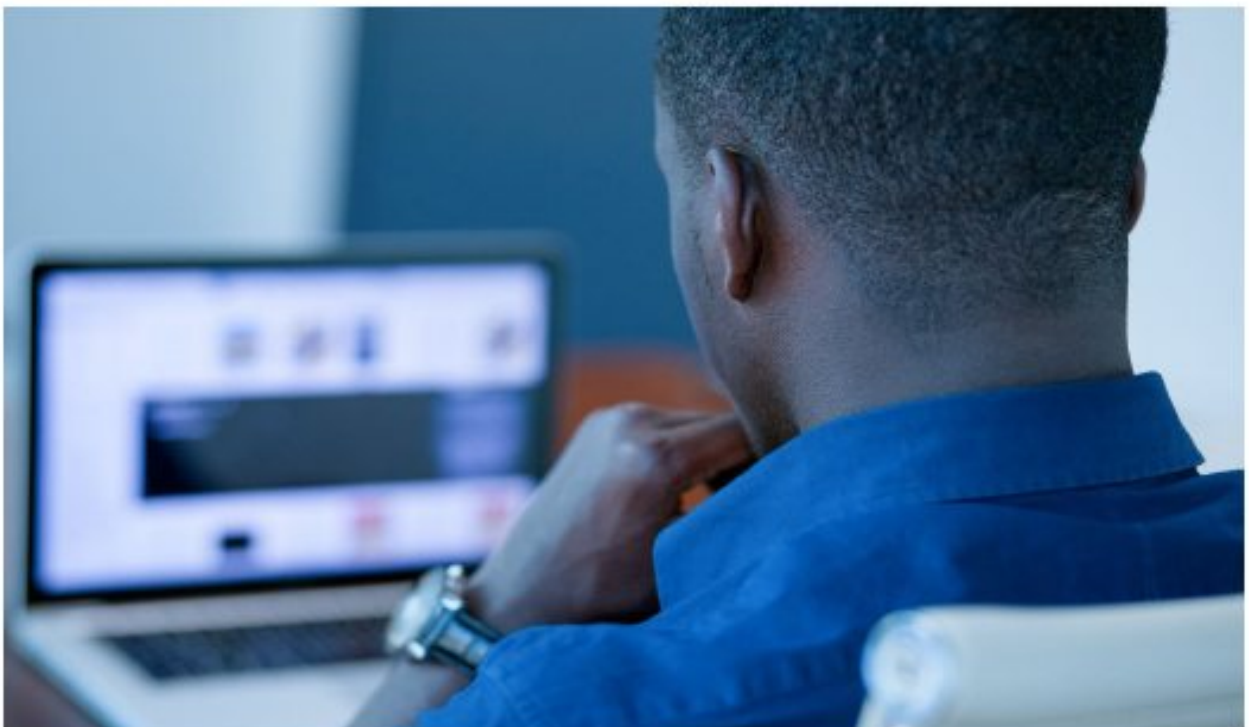
様々に異なる現実をベースに、スマート・テリトリーのコンセプトをどのようにモデル化するのでしょうか？ デジタル分野やデジタル化に関する SSE 組織や企業の経験を基に、どのようにプラットフォームを構築したらよいのでしょうか？ 利用者へのサービス、地方自治体の機能、地方公共政策の運営を、特に手続きのデジタル化やデータの処理を通じて、どのように改善するのでしょうか？ 政府、SSE 組織、企業間の地域・国レベルでの協力のための共同アプローチをどのように構築したらいいのでしょうか？

サブテーマ

4.1 スマートテリトリーのためのモビリティとコネクティビティ、持続可能な住宅と交通手段

4.2 デジタル化分野における SSE 組織や企業の経験を生かすためのプラットフォーム

4.3 スマートテリトリーへの技術移管に向けた協力のメカニズムと手段



テーマ5

地域ための協働的で持続可能な経済への資金調達



現在 SSE は地域開発を可能にする効果的かつ共同で行うビジネス方法として認識されています。しかしながら、SSE、ひいては地域経済や共同経済、の資金調達については、依然として重要な問題の1つとして残っています。実際、包摂的で持続可能な開発にとって不可欠なパートナーである地方自治体や SSE の組織と企業は、あいかわらず資金調達という難問に直面しています。

SSE の組織や企業が資金調達する方法、戦略、制約には何があるのでしょうか？ その有効性、持続可能性、影響力に関する課題にどのように取り組んだらいいのでしょうか？ 若者、女性、農村部の人々など、私たちの経済にとって不可欠なグループを対象とする際には、どのような具体的な手段を動員することができるのでしょうか？ どのように地方政府内に SSEOs を支援する分散型の資金調達構造を構築するのでしょうか？ どんな代替的・革新的な資金調達メカニズムを動員することができるのでしょうか？ 国や地方自治体の役割は何でしょうか？ どのようにして、ヒト、カネ、モノのリソースを集めて、地方自治体と SSE 関係者の間にパートナーシップを構築したらよいのでしょうか？ 企業の CSR 計画をよりよく活用し、規制するにはどうしたらよいのでしょうか？ これらは、このテーマで答えるべき多くの質問の一部です。

サブテーマ

5.1 SSE の組織や企業の資金調達のための法的枠組みと支援

5.2 社会的ファイナンス&バンキングと社会的投資

5.3 SSE と企業の社会的責任

テーマ6

政策対話：国・地方自治体 vs 包摂的で持続可能な地域経済のための主要なステークホルダー

急速な都会化と都市の無秩序な占有は、地方自治体が直面するガバナンス問題を悪化させ、その結果、多様で適切な公共サービスに大きな負担をかけています。社会的・地域的包摂という観点からこの大きな課題に立ち向かうために、多要素・多部門の対話は、地域レベルで包摂的かつ持続可能な経済を促進・発展させる新しいパラダイムを構成します。自治体とSSEの組織や企業との間で、よりオープンで協力的なガバナンスを強化するにはどうしたらよいのでしょうか？すべての関係団体（中央・地方政府、SSEの活動家、その他）のコラボレーションは、地域的で共同の持続可能な経済の発展をいかに促進することができるのでしょうか？SSEの観点から、参加型ガバナンスと連動した構造的な対話メカニズムをどのように構築したらいいのでしょうか？地方公共団体とSSE関係者の連携は、それぞれの地域において地域経済を活性化させることができる分権的な政策の出現に、どのように貢献することができるのでしょうか？

サブテーマ

6.1 社会問題：SSEは包摂、移民、社会的結束の問題にどのように対処するか？

6.2 北と南、南と南の共同

6.3 SSEの政府、協力者、ネットワークとの対話

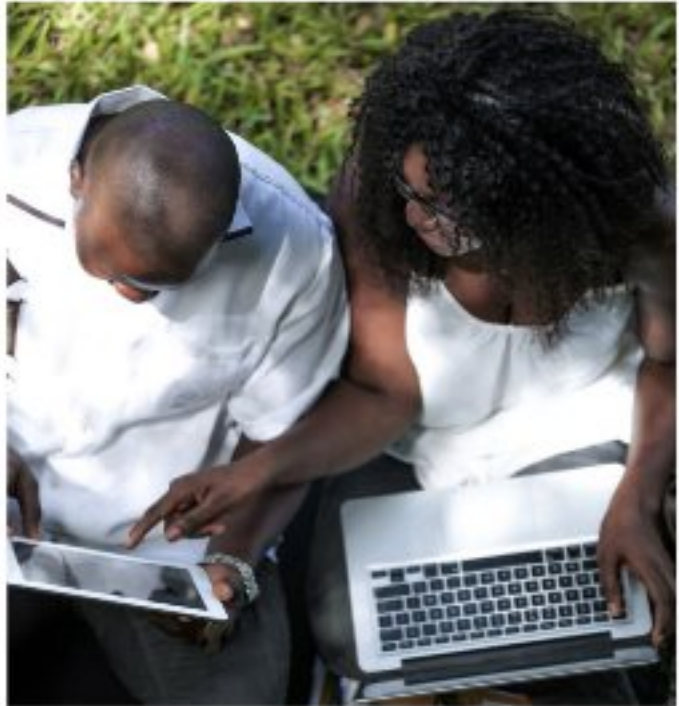


テーマ7

社会的連帯経済と持続可能な開発：実践と研究の関連性

現在の利害関係者の多くは、SSE が「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」によって作られた新しい枠組みの中で、社会、経済、環境の目標を調和させる機会を提供するものである、という事実に存在しています。したがって、SSE の諸実践は、その地域的な特徴や特異性を把握するために、とりわけ個人、地域、地球規模での社会の質や経済への影響の原則的な指標を定義するために、研究者たちにより理解され分析される必要があります。

SSE はどのように研究および知識の蓄積と伝達の道を歩むことができるのでしょうか？ SSE と持続可能な開発の 4 つの柱（人間、社会、経済、



環境）の間にはいかなる関係が考えられますか？ SSE と開発研究の間にはどのような革新的な結びつきがあるのでしょうか？ SSE 活動家、学会、研究機関にどんな連携があるべきでしょうか？



サブテーマ

7.1 社会的インパクト - 社会的インパクトの測定と管理

7.2 SSE のイノベーションと開発研究

7.3 SSE 実践者、学会、研究機関の協働

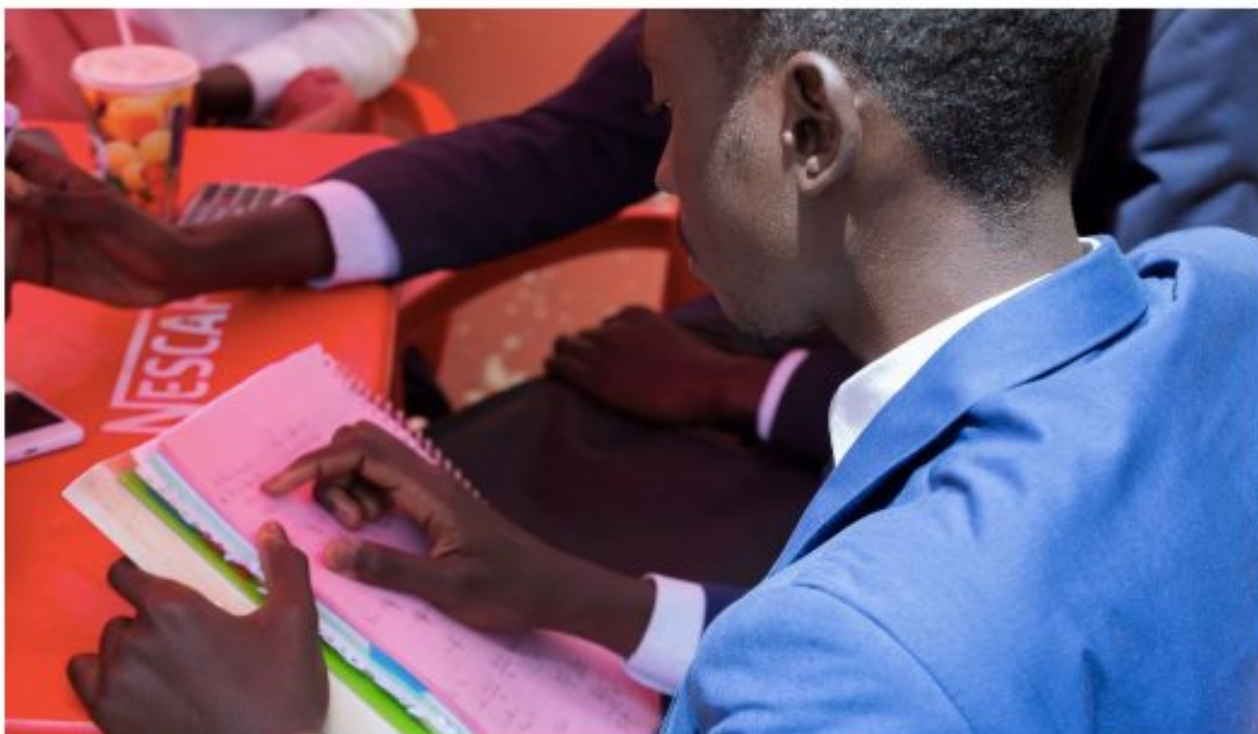
スペシャルイベント

若者と SSE に関するプレフォーラム

地域のための包摂的で持続可能な起業家精神: 若者を取り込むための解決策を、ここからもそしてさらにその先からも!

若者と SSE に関するプレフォーラムには、100 以上の都市から若者が集まります。そのプログラムは、刺激的なプレゼンテーション、経験を共有するワークショップ、就職フェア、社会的連帯起業家フェアで構成されています。このイベントは 2 日間、若者専用の場所で行われ、若者のための、若者とともにある SSE の問題と原則に焦点を当てます。また、西アフリカの若者によるキャラバン隊も組織され、連帯する人々の統合を促進します。

SSE に従事する若者の起業ノウハウを共有し、次世代の SSE リーダーを鼓舞するために、若者の取り組みをどのように促進したらいいのでしょうか? 開発アジェンダを実行する過程で、設計、実施、意思決定において、若者が能力を発揮できる場所を確保するにはどうすればよいのでしょうか? GSEF2023 フォーラムを通じて、若手 SSE 関係者の活動を協議・発展させるための適切な枠組みをどのように作ったらよいのでしょうか? このフォーラムを、若い世代とともに、また若い世代のために、より公正で持続可能な世界経済への決定的な転換点とするにはどうしたらよいのでしょうか?



「女性と SSE」デー

女性の社会的・経済的エンパワーメントと持続可能な公共政策の地域化

家事における女性の、商品・サービスの生産、そしてより広義に経済への高まっている貢献は、アフリカでも世界でも、まだ十分に認識されていないのが現状です。しかし、アフリカの女性の経済へ従事率は 61.9%であり、アフリカ大陸の農業従事者の 70%、食料生産の 90%を女性が占めている（OECD）ことから、これらの貢献は重要であるといえます。

私たちの地域で女性の社会的・経済的エンパワーメントを進めるにはどうしたらよいのでしょうか？ 女性の利益のために、また具体的な長期的行動を支援するために、どのような構造的投資を行うべきなのでしょう？ 女性の生産活動を支援するために、どのような資金調達の政策や支援メカニズムを実施すべきなのでしょう？ もはや単なる正義や民主主義の問題ではなく、公共の政策やプログラムを通じて不平等を是正する道筋において、女性の社会的・経済的な解放のための必須の条件である、女性の平等な参画をどう強めていったらいいのでしょうか？



GSEF2023 ダカール(セネガル)大会への案内

親愛なるメンバー、

GSEF2023 の提案募集が開始されました。詳細については、こちらをご覧ください (<https://www.gsef-net.org/en/node/27937>)。ご提案をお待ちしております！（提出期限:2022年5月27日）

敬具

【GSEF2023 プロポーザル募集開始!】

gsefadmin 2022年3月29日 - 7:52pm

第6回グローバル・ソーシャル・エコノミー・フォーラム（GSEF2023 Dakar）は、2023年5月1日から6日まで、ダカール（セネガル）で開催される予定です。このイベントは、ダカール市と社会的連帯経済のための活動家・自治体ネットワーク（RACTES）が、セネガル・マイクロファイナンス・社会的連帯経済省と共同で主催するものです。

グローバル・ソーシャル・エコノミー・フォーラム（GSEF）は、社会的連帯経済（SSE）に関する最も権威ある最大の会議のひとつで、2年ごとに、地方および国の政府から市民社会組織やネットワーク、国際機関、学術・研究機関、民間セクターまで、SSE分野のすべての関係者が集まり、より包摂的で公平、連帯に基づく、人間中心の世界の構築に向けて実践、経験、政策、ビジョンを共有することを目的としています。

この提案募集を通じて、GSEF2023 ダカール・フォーラムは、資本主義的でない、より人間中心の新しい開発モデルへの道を共同で構築するために、世界中の地方や地域の関係者から生まれたすべての取り組みに力を与えることを意図しています。

【GSEF2023 フォーラムのテーマ】

メインテーマ「社会的連帯的経済と地域」。このテーマは、7つのテーマと、若者と女性に関する2つの特別企画を通して探求されます。

テーマ 1：若者と女性のためのディーセント・ジョブ（人間らしい働き方）に資する協働的で持続可能な経済のための公共政策の共同構築

テーマ 2：持続可能なブルーエコノミー（海洋経済）、伝統的な漁業の維持、持続可能な新規雇用の創出、社会と環境の保護

テーマ 3：地域、食料自給、そのガバナンスのための協働的で持続可能な「グリーン」経済

テーマ 4：連帯と持続可能なデジタル経済とスマートテリトリー

テーマ 5：地域のための協働的で持続可能な経済への資金調達

テーマ 6：政策対話：国・地方自治体 vs 包摂的で持続可能な地域経済のための主要な関係者

テーマ 7：社会的連帯経済と持続可能な開発：実践と研究の関連性

* 特別企画 1：若者と SSE に関するプレフォーラム

地域のための集団的かつ持続可能な起業家精神。若者を取り込むための解決策をここから、そして世界から!

* 特別企画 2：女性と SSE の日

女性の社会的・経済的エンパワーメントと持続可能な公共政策の領土化

* 提案の出し方

2つのカテゴリー（①個別の取り組み、②自主企画セッション）のうち、いずれか1つのカテゴリーでご提案ください。

① 個別の取り組み

GSEF2023 フォーラムのテーマ別ワークショップの1つとして、希望するテーマについて取り組みを発表したい個人・法人（民間・公共団体）を募集します。

科学委員会は、テーマ別ワークショップ（予定時間：約90分）で発表する類似のイニシアチブを選択する予定です。多様な経験や状況を反映させるため、通常、3～5件のイニシアチブが共通のテーマで発表するよう招待される予定です。

② 自主企画セッション

GSEF2023 フォーラムでは、民間・公共団体を問わず、セッションの企画を募集しています。企画にあたっては、テーマ、モデレーター、スピーカー、共催機関などを自由に提案することができます。

採択された提案には、GSEF2023 フォーラムでの参加スペースが提供されます。なお、企画主催者は、各セッションの開催に関わるすべての費用を負担することに同意していただく必要があります。

* 選考基準

両カテゴリーの提案を審査し、本公募のために結成された GSEF2023 科学委員会により選考を行います。選考に際しては、ジェンダーバランス、地理的多様性、および若者、女性、障害者、先住民の代表を含むその他の重要な要素が考慮されます。

◆優先されるのは、以下の通りです。

- 1) GSEF の会員組織
- 2) 周辺に構築された、または強調するプロジェクトやイニシアチブ。
 - ・ 公共政策の共創のための政府と SSE 組織・企業との協力関係
 - ・ 社会的・経済的な目的を持ったソーシャルイノベーション
 - ・ SSE を通じた SDGs 達成に向けた公共政策

* 提出期限： 提出期限：2022年5月27日午前0時(UTC)

* 重要事項

*提案書は、以下のいずれかの言語で提出する必要があります。英語、フランス語、スペイン語のいずれかでご提出ください。

*オンライン応募フォームから提出された提案のみが考慮されます（リンクはこのページと同封の説明書にあります）。

* 採択された団体・個人には、公募終了後1ヶ月以内にご連絡いたします。

詳細およびお問い合わせは、gsef@gsef-net.org / contact@ractes.sn までお願いいたします。

GSEF2021 年メキシコ大会について（報告）

社会的連帯経済を推進する会

1. 2020 年大会の 1 年延期と 2021 年メキシコ大会の開催
2. メキシコ大会（第 5 回 GSEF2021）のテーマとサブテーマ
3. メキシコ大会（第 5 回 GSEF2021）の日程
4. 大会における応募の個別報告と自主企画
5. 総会参加団体と代表者

1. 2020 年大会の 1 年延期と 2021 年メキシコ大会の開催

GSEF の世界大会は 2013 年 11 月に韓国・ソウル市で開かれた第 1 回大会で『ソウル宣言』を採択。翌 2014 年に再び韓国・ソウル市で第 2 回大会を開き、アイデンティティ、目標、会員、組織、財務などを定めた『GSEF 憲章』を採択して国際組織として発足し、2 年おきに世界大会を開くことを申し合わせた。そして 2016 年にカナダ・モントリオール市で第 3 回大会、2018 年にスペイン・ビルバオ市で第 4 回大会を開催した。

しかし第 5 回大会を 2020 年にメキシコ・メキシコシティで開催する予定であったが、新型コロナによるパンデミックの状況下で 1 年延期となり、2021 年 10 月 4 日～8 日にメキシコのメキシコシティで開催された。この間、2020 年夏にはオンラインによる GSEF フォーラムが行われており、日本からは「社会的連帯経済を推進する会」の推薦により、NPO 法人「WE21 ジャパン」がリサイクル・ショップの 50 店舗に及ぶ展開と、その収益 3 億 350 万円を活用しておこなわれたアジアの人々と日本との連帯・交流活動について報告している。

メキシコシティ大会は、2021 年 10 月 4 日～8 日に GSEF と現地組織委員会の協力のもとに、現地の会合とウェビナーシリーズを組み合わせて行われ、12 のセッションを 3 言語（英語、フランス語、スペイン語）で開催された。50 か国以上から 5,700 人以上の登録があった。

また「Great Challenge and Greater Solidarity」をテーマにした GSEF グローバル・バーチャル・フォーラムが開催され、15,000 人以上の登録があり、100 か国以上からの直接参加があった。またウェブサイト、ソーシャルメディアを通じた大会参加者は 163,000 人に達した。社会的企業、SSE 関係者、地方自治体や国の関係者によって COVID-19 との闘いの中であったが勝利した大会であったと評価されている。

（詳しい情報は次の URL にて。 <https://www.gsef2021.org/index.php/en/> ）

2. 第 5 回 GSEF メキシコ大会のテーマとサブテーマ

●メキシコ大会のテーマ

「地方自治体と社会的経済：グリーンでインクルーシブな経済を共に創造する」

地方自治体は、機会均等、環境保護において、また尊厳のある仕事へのアクセスの促進や、社会的事業の起業家へのサポートを充実させる。また地元の製品や企業との経済的な結び付きを促進するために、地域社会と共に、現在の危機に対応できる新しい仕組みづくりを通じて、よりグリーンで、包括的で、持続可能な経済に基づくエコシステムを構築するうえで、重要な役割を果たす。また同様に、民間部門、社会部門、学術部門もまたこれらの目的のための基本的なアクターであることが必要であり、政府と協力して社会的連帯経済（SSE）を強化するために努力する。そして彼らの実践を通じて、パンデミック後の新しい筋道を決定するように取り組んでゆく。

●メキシコ大会のサブテーマ

- 包括的なコミュニティの構築と再構築
- 社会的連帯経済のための教育・学習・研究
- SSEによる生態系の変革への貢献
- 多様で革新的なソーシャル・ファイナンスの仕組みの推進

○地域的・国際的な提携関係の構築

これ等のテーマ・サブテーマに基づいて、発表者の募集が3月初めから4月9日までの間に
行われ、後の述べる発表者・テーマが採用された。日本からは国内のコロナ禍の先行き不透明
であることから、テーマ・サブテーマへの組織的応募、参加者公募のツアーによる派遣は行わ
なかったが、総会へは「社会的連帯経済を推進する会・日本」の代表として白井和宏氏がオン
ラインで参加した。(総会での議題と決定事項は別記した記録を参照されたい。)

3. メキシコ大会の日程

* 第1日(10月4日) 包括的なコミュニティの構築・再構築

- covid-19後の包括的で社会的な経済の構築
- 官民提携による基本的ニーズとサービスの確保による包括的社会の再構築
- アフリカにおけるSSE政策の共同構築のエコシステム:アフリカにおけるSSEの公共政策の地域
化のための対話と展望
- インクルシブ・ソサイエティに向けた不平等との闘いにおける社会的連帯経済
- カメルーンのコンミュンにおけるインクルシブ・コミュニティとSSEの活性化
- 市長たちによるパネル
- プレナリー1. インクルシブ・コミュニティの構築と再構築
- 社会的経済とケア
- インクルシブで持続可能なワークモデルと社会を育成するための社会的連帯経済組織と企業
の構築
- 社会的経済からのインクルージョンのための政府の行動
- 社会的経済からのインクルージョン・モデル

* 第2日(10月5日) 社会的経済と連帯経済のための教育・学習・研究

- 社会起業家精神、社会イノベーション、コミュニティ開発
- R I P E S Sは、ポストcovid-19状況下で、持続可能な開発の重要な戦略としてのS S Eを推進
するためのグローバルなアドボカシー活動の加速させる
- 社会的イノベーションと変革のための学習
- G S E F総会
- プレナリー2. 社会的連帯経済のための教育・学習・研究
- S S Eにおける教育・訓練の道筋
- S S Eにおけるデジタル化とプラットフォーム化のためのビジネス促進プログラム
- S S Eのための学習とモニタリングの経験

* 第3日(10月6日) S S Eによる生態系の変化への貢献

- 欧州における地域の経済発展と産業変革のためのS S Eセクターの役割
- 社会的連帯経済はどのように地域社会のエコロジー的公正への移行に貢献できるか
- 経済文化の変化:ソーシャル・エコノミー、加速する用途の変化
- 社会的連帯経済とは。国の人間開発イニシアティブのためのテコとしてのS S E
- 国際連合の役割、SSEのハブとして
- 公共政策によるSSEの推進。7つのケーススタディと地方自治体のためのガイドライン
- プレナリー3. SSEによる生態系の変化への貢献
- SSEによる持続可能性の実現
- 地域的・国際的なアライアンスの発展:人間中心で地球にやさしい経済としての社会的連帯経済に
ついて
- 持続可能なエネルギー協同組合

* 第4日(10月7日) ソーシャル・ファイナンスの多様で革新的メカニズム推進

- ポストcovid 19の時代におけるソーシャル・ファイナンスの変革的役割
- SSEのエコシステムを強化するための、様々な地域の革新的なソーシャル・ファイナンス・メカ
ニズム
- SILK-社会的連帯経済の国際学習・知識コミュニティ
- 社会的経済企業のエコロジーと社会的移行のための資金調達:ソーシャル・ファイナンスと連帯金

融ネットワークとの対話

- プレナリー4. 多様で革新的なソーシャル・ファイナンス・メカニズムの推進
- 地方自治体による連帯金融の仕組み
- 社会変革のための通貨:イベロアメリカにおける相互信用システムの新しい夜明け
- SSEに関する統計:我々はどこにいるのか? そして何処へ向かおうとしているのか
- コミュニティの貯蓄と信用を通じた連帯の発展

* 第5日(10月8日) 地域的・国際的な提携関係の構築

- ユース&SSEセッション - 持続可能なインパクト・エコシステム構築に向けた次世代の役割
- 新しい経済を構築するための地方自治体とSSE関係者の取り組み及び連携
- アフリカにおけるCOVIT-19後のSSE企業の経済的回復の支援
- 地域におけるSSEエコシステムの共同構築のための革新的パートナーシップ
- 「宣言」とその発表 GSEF2023
- プレナリー5. 地域及び国際的な提携関係の構築
- 地域連合の成功例
- 青い海の連帯関係 - 地中海の救世主?
- GSEF21組織委員会
- サンマルトム(アルゼンチン)における社会的連帯経済政策、マネジメントとアクション・リサーチの間の反省的な対話

4. 大会における応募の個別報告と自主企画(標題等については当会ホームページをご参照ください。)

【個別報告】

- ・68報告: アルゼンチン=4報告、ボリビア=3報告、ブラジル=4報告、カナダ=7報告、チリ=1報告、コロンビア=3報告、韓国=9報告、コートジボワール=2報告、クロアチア=1報告、エクアドル=2報告、スペイン=4報告、アメリカ=2報告、フィンランド=1報告、フランス=3報告、グアテマラ=1報告、イタリア=1報告、日本=1報告、ケニア=1報告、マダガスカル=1報告、モロッコ=2報告、メキシコ=4報告、ニカラグア=1報告、ペルー=3報告、イギリス=1報告、セネガル=1報告、台湾=2報告、トーゴ=1報告、トルコ=1報告、ウガンダ=1報告

【自主企画セッション】

*数はセッション数(セッション名等については当会ホームページをご参照ください。)

- ◆25セッション: アルゼンチン=3、ベルギー=1、カメルーン=1、カナダ=1、韓国=3報告、スペイン=2、フィリピン=1、フランス=2、マリ=1、モロッコ=2、メキシコ=2、オランダ=1、スイス=1報告、チュニジア=2報告、UNTFSSSE=1、欧州委員会=1、ICA=1

5. 総会参加団体と参加者代表(参加団体名、参加者は当会ホームページをご参照ください。)

- ・地方自治体やNGOの53組織から参加

【2021年10月5日 GSEF 総会での議題と決定事項 要旨】

総会での議題と決定事項

0. 議決権行使の有効性
1. 議案の採択と開会の辞
2. スペイン・ビルバオで開催された2018年10月2日の総会の議事録の承認
3. 活動・財務報告（2018-2021年）について
4. GSEF 憲章の改正について
5. 2021年から2023年の議長市の選出
6. 共同議長都市、地域・大陸別副議長都市、次回 GSEF 開催都市（2023年）の選出について
7. 運営委員会メンバーおよび国際アドバイザーの選出
8. 行動計画および予算（2021-2023年）の承認
9. その他および閉会の辞

議題0: 総会の成立について

* GSEF 事務局長 Laurence・クワルク（以下、Laurence）の報告、

- ・ 今日までに会費の支払いが完了している36名の正会員のうち35名が出席している（すなわち正会員の2/3以上）ことを発表し、総会の定足数に達したことを宣言。
- ・ ソウル特別市（SMG）代表のハン・ヨンヒ労働政策局長（以下、ハン氏）が、ソウル市長兼 GSEF 会長のオ・セフン市長の代理として開会挨拶。
- ・ ソウル社会的経済ネットワーク（SSEN）会長で GSEF 共同議長のピョン・ヒョンソク氏（以下ピョン氏）も全会員に挨拶。

議題1. 議案の採択

- ・ ハン氏は、2021年10月5日のこの日、ハイブリッド方式で開催される GSEF 第4回総会の開会を正式に宣言。
- ・ 彼は Laurence に総会のアジェンダを提示するよう依頼。Laurence は議案を順に発表し、各議案の採択を求め、出席メンバーは全会一致でアジェンダを承認する。以下、議題はすべて事務局長 Laurence が提案。

議題2. 前回総会の議事録の承認

- ・ 2018年10月2日にビルバオで開催された総会議事録を、Chantier de l'économie sociale と韓国社会価値連帯基金（SVS 基金）が、承認する動議を提案。
- ・ ソウル特別市がその動議を支持し、この動議は、全会一致で承認。

議題3. 活動報告および財務報告の承認

- ・ 2018-2021年の GSEF の活動報告および財務報告が提案され、全会一致で承認。

議題4. GSEF 憲章の改正

- ・ 二年ごとに事務局移転を可能とする改正提案に対し、RECIC 所属の Jean-Michel Mvondo（以下 Jean-Michel）から恒久化すべきとの意見が出されたが、ソウル市がこれ以上、その役割を続ける意思がなく、他の会員都市に GSEF に貢献しリーダーシップを発揮する機会を与えたいと望んで

おり、ボルドー市が新議長候補であることから、議長と事務局が相違することは好ましくない事などから、GSEF 憲章の改正案は全会一致で承認された。

- ・なお、GSEF が財政的に独立し、議長都市からの補助金に依存しないのであれば、この問題は簡単に解決する。しかし、現状では、会費収入で GSEF 事務局の年間予算の 10%を賄っているに過ぎない。

議題 5. 議長都市選出

- ・ボルドー市長ピエール・ウルミック (Pierre Hurmic) が会議に出席できないため、録音メッセージによる GSEF 議長都市選挙への、ボルドー市からの立候補表明。
- ・特徴として新アキテーヌ地方、ジロンド県、ボルドー市の 3 地方自治体が参加する側面を強調。
- ・ジャン・ミッシェル (Jean-Michel) は、ボルドー市が唯一の立候補者であることから賛成意見を述べ、ビルバオ市をはじめ、満場一致でボルドー市を GSEF の新議長都市に選出。

議題 6. 共同議長都市、地域・大陸別副議長都市、GSEF2023 開催都市の選出

* 改正した憲章では、地域・大陸の副議長都市は、GSEF 共同議長都市の任務となることから、共同議長都市を選出に入る。

- ・欧州共同議長都市は、ヌーヴェル・アキテーヌ地域評議会 (フランス) の SSE 担当副会長、モード・カルヘル氏 (以下、モード氏)。今回の立候補は、GSEF の議長としての責任を共有するための共同立候補。ヌーヴェル・アキテーヌ地域圏については、ジロンド県が欧州 GSEF の共同議長として共働する。
- ・アジアの共同議長都市は、韓国社会経済連帯自治体協会 (SSEGOV) のムン・ソクジン氏 (以下、ムン氏)。SSEGOV は GSEF の創設メンバーの一つ。台北市の代表である Tom Chou 大使は、SSEGOV への支持を表明し、アジア共同議長都市に選出。
- ・北米の共同議長都市は、モンリオール市を代表する Johanne Lavoie と、ケベック州の Chantier de l'économie sociale (シャンテ) 代表 Béatrice Alain を選出。両者とも GSEF の創立メンバー。
- ・アフリカの共同議長都市と GSEF2023 フォーラムの開催都市として、ダカール市とスース市の 2 都市の立候補が発表された。Laurence は、まずアフリカでの GSEF2023 フォーラムの開催都市を選出し、次にアフリカの共同議長都市を選出することを提案。

* ダカール市長 ソハム・エル・ワルディニ氏はビデオ参加で立候補表明

* 続いて、チュニジアのスース市長の Mohamed Ikbel Khaled 氏 (以下、Ikbel Khaled 氏) が立候補表明と、セネガルのダカールの立候補表明を受けて辞退のスピーチ。

- ・現在のアフリカ GSEF 副議長都市であるバマコ市が、ダカール市への支持を表明し、2023 フォーラム開催地としてダカールは、アフリカ全体の候補地であることを宣言した。
- ・メンバーは一致して、アフリカで開催される次の GSEF2023 フォーラムの開催都市として、ダカールを指名。
- ・続いてアフリカの GSEF 共同議長都市として、チュニジアのスース市の立候補と選出を確認。

議題 7 ステアリングコミティーメンバーとインターナショナルアドバイザーの選出について

- ・次期運営委員会メンバーの選出。いずれも任期更新を意思表示し、そのことを承認。
 - * SSE 国際フォーラム (IFSSE)、
 - * 社会的連帯経済促進のための大陸間ネットワーク (RIPESS)、
 - * アジアベンチャー慈善ネットワーク (AVPN)、
 - * ソウル特別市 (SMG)、
 - * ビルバオ市
 - ・新たに運営委員に加わった 3 団体
 - * ConcertES (ベルギーのブリュッセルとワロン地域の、SSE 組織の代表的ネットワーク)
 - * 社会的連帯経済のカメルーン市長会 (REMCESS)、
 - * 韓国次世代社会的経済活動家 (Next G)
 - ・GSEF の準会員からの運営委員会への追加 —— 申請権はないが、GSEF2018 フォーラムと 2018 年のビルバオでの総会以来、GSEF のメンバーは、SSE に従事する若いリーダーに場所と責任を提供することを約束してきた。このカテゴリーの団体として承認。
 - * カンボジア Phare Performing Social Enterprise (PPSE)、
 - * トーゴ the Organization of Youth Committed to Sustainable Development (OJEDD)
 - * 英国 the Wales Co-operative Center
- ◆運営委員は合計で 11 団体 = 11 人
- ・国際諮問委員会のメンバー 6 人の任期更新を承認
 - * Kyong Yong Song 牧師、
 - * Nancy Neamtan、
 - * Marguerite Mendell 教授、
 - * Dominique Lesaffre、
 - * Pedro Manuel Sasia Santos、
 - * Thierry Jeantet

議題 8. アクションプランの承認

- ・予算決定なしの 2 年間のアクションプラン (2022-2023) について、総合アクションプランには地域戦略計画が含まれており新任の共同議長都市、議長都市、および運営委員会の地域代表との協議がまだ必要であることを確認。
- ・新たに選出されたガバナンス担当の代表者が協力して、このアクションプランを完成させていく事の確認。
- ・2022 年に GSEF 事務局が、ソウル (韓国) からボルドー (フランス) へ円滑な移行の確認。
- ・すべてが GSEF のビジョンとミッション、そして社会的経済の価値と原則に導かれた活動方法に沿ったものであることを会員に保証。これらのことが、ソウルからボルドーへの効率的な移転の条件となることを確認。
- ・移行計画を実行可能で現実的なものにするためには、総会の後すぐに策定する必要がある。移行

計画には、GSEF のアクションプランの実施と国際事務局の移管を可能にする予算が付与され、活動の円滑な運営と組織の財政的な存続を確保することになる。より効果的な共同作業を行うために、移行期間が必要。等々を確認

議題 9 雑務および閉会の辞

- ・ハン事務局長と総会に出席した GSEF 会員に感謝し、ハン事務局長は総会の閉会を宣言した。

(終了)